

# かべ新聞

第140号

2020年  
10月6日

JR東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## 修繕車両所の休日出勤を撤回せよ！

東京修繕車両所では、10月から構内操縦者養成期間の要員不足を理由に休日（特休）出勤が、勤務表で明らかになりました。

構内操縦パートを除くすべての所員に対して、10月の勤務発表前まで休日出勤できるか助役が『構内操縦者養成期間中、要員が不足するので休日出勤できないか？』と聞いて歩いた模様。しかし、絶対休日出勤したくないと答えた所員に対して、『どうしてもと言われたときには、お願いします』とされているようです。これでは、本人の同意を得たとは言えず強制と言えます。JR東海労は休日出勤には反対です。

## 会社は要員不足を休日出勤ではなく、 基準人員・必要要員確保で解消を！

会社はこれまで、慢性的な要員不足を指摘してきた私たちに『必要な要員は確保している』として、基準人員・必要要員を明らかにしてきませんでした。年間計画の教育・養成を行うのに休日出勤しなければ、要員が確保できないことは、必要な要員を確保しているとは言えません。これでは毎年休日出勤が発生することになります。

昨年度、特休が取り切れていない人。年休を流してしてしまった人が少なからずいると聞いています。このような状況では、精神的にも肉体的にも疲労がたまり、ヒューマンエラーや事故の原因となります。会社は安全を確保するために、必要な要員を確保し慢性的な要員不足の解消をするべきです。

**JR東海労は必要な要員確保に向け職場から声を出して行きます。皆さんも一緒に声を出しましょう！**